

## 会 議 録

会 議 名	第 53 回日野市地域公共交通会議
日 時	令和 8 年 5 月 26 日(火) 午前 10 時～12 時
会 場	市役所 5 階 505 会議室
出 席 者	委 員：別紙のとおり 事務局：日野市まちづくり部都市計画課
議 事	(1)令和 7 年度決算書(案)について (協議事項) (2)令和 7 年度ミニバス・ワゴンタクシー利用者数と見直し基準適合状況について (報告事項) (3)デマンド交通利用者数とアンケート調査結果について (報告事項) (4)令和 9 年 4 月ミニバス運行経路変更及びダイヤ改正について (協議事項)
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	4 人
<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ(会長)</p> <p>3. 議事</p> <p>(1)令和 7 年度決算書(案)について(協議事項) 事務局から説明(資料 1) &lt;意見、質問等&gt; 特になし</p> <p>(2)令和 7 年度ミニバス・ワゴンタクシー利用者数と見直し基準適合状況について(報告事項) 事務局から説明(資料 2) &lt;意見、質問等&gt;</p> <p>【委員】 川辺堀之内路線の収支率が 109%となっているが、市の補填なしに黒字ということか。</p> <p>【事務局】 市の補助金は含まれない。川辺堀之内路線は運行収入で黒字になっている。</p> <p>【委員(京王バス)】 日野市の補助金算定基準上の収支においては黒字であるが、これまでの算定基準の中には含んでいない経費もあり、実際は黒字とは言い難い状況である。</p> <p>【委員】 推計値と実績値の差はシルバーパス利用者数の減少が要因であることについて説明してほしい。</p> <p>【事務局】</p>	

推計値は、以前に推測した一定のシルバーパス利用者比率により算出している。また、実績値について京王バスが把握する一般利用者数を引くと、実際のシルバーパス利用者数が算出できる。このシルバーパス利用者数が、推計値と比較して実績値が少ないことが判明したため、以前よりシルバーパス利用者数が減少していることがわかる。

### (3) デマンド交通利用者数とアンケート調査結果について(報告事項)

事務局から説明(資料3)

<意見、質問等>

【委員】

車椅子の利用状況について教えてほしい。

【事務局】

デマンド交通は現在まで車椅子の利用はない。

【委員】

利用者数推移で増減している月があるが、利用者数が増加するような施策を行ったか。

【事務局】

令和7年10月30日に民生委員に対する説明、11月9日に産業まつりでPR活動、12月18日、19日に利用説明会を実施した。

【会長】

令和7年度のデマンド交通利用者1人当たりの市負担額をミニバスとワゴンタクシーと比較して説明してほしい。

【事務局】

令和7年度決算見込みに基づき回答する。ミニバスは1人当たり100円、ワゴンタクシーは1人当たり892円、デマンド交通は1人当たり8,995円の財政負担となっている。

### (4) 令和9年4月ミニバス運行経路変更及びダイヤ改正について(協議事項)

事務局から説明(資料4)

<意見、質問等>

【会長】

3点確認する。1点目、令和8年4月から開始されている土日祝日の減便について、市と京王バスに市民からどれくらいの問い合わせや意見が届いているか。

2点目、令和9年4月の再編に伴い、日野市地域公共交通総合連携計画の変更は想定しているか。

3点目、前回会議の中で「路線バス自体が減便ないし廃止という状況になっているため、それを補完するミニバスという考え方を少し変えていかなければならない」という発言があったが、この意図を改めて説明してほしい。

【事務局】

1点目、令和8年4月の土日祝日の減便について、時間の変更に関する問い合わせはあったが、「減便されて困っている」といった問い合わせはない。

【委員(京王バス)】

京王バスも日野市の状況と同じで、時間に関する問い合わせはあるが、「減便されて困る」といった意見はない。

【事務局】

2点目、現在の計画は令和10年度までとなっていて、今回のミニバス再編は運転手不足に伴う京王バスからの提案でもあり、計画の全体的な見直しや変更などは現時点では考えていない。市としては、基本的に新たな交通空白などを生じさせないように検討していただきたいと京王バスにお願いしているが、提案内容については会議で議論を重ねつつ、新計画は予定通り令和11年度からを考えている。

【委員】

3点目について、日野市の公共交通は、鉄道、バス、タクシーとある中で、バスなどの乗合関係については大きく分けて4つある。1つ目は大型バスによる路線バス、2つ目はミニバス、3つ目はワゴンタクシー、4つ目は1年半前から始めているデマンドタクシーである。その中でミニバスの役割は、大型バスが走れないような狭い道路をミニバスが走ることで、大型バスを補完するというもの。また、ワゴンタクシーの役割は、ミニバスも走れないような狭い場所をワゴンタクシーが走ることで、ミニバスを補完するというような原則がある。近年の路線バスの廃止や大幅な減便などに対応していかなければならないところ、ミニバスの役割は大型バスが走れない部分を補完するものであるため、走っていた大型バスが無くなる路線にミニバスは走らせないというものが基本的な考え方である。前回会議での発言は、その考え方では路線バスが廃止になった路線に対応ができなくなるため、ミニバスが路線バスを補完するという原則を柔軟に考え、変えていかなければいけないという意図での発言である。

【委員】

今回提案の廃止路線の中で、車椅子使用者の日常的な利用があるか。また、形態変更に伴い、例えばシルバーパスを利用していた方がこれによって利用できなくなるのではないかという意見もある。

【委員(京王バス)】

京王バスでは今回の提案にあたり、車椅子の利用状況について乗務員から聞き取りをしているが、毎日利用されている方はいない。時折利用される方はいるが、平山循環路線で平山住宅から利用される方が1人、市内路線で都営大阪上アパートから、また、多摩平第1公園から利用される方がそれぞれ1人である。市内路線の経路の見直しについては、車椅子の利用状況も加味した上で、現在の路線系を維持することになった。

【事務局】

ミニバスはシルバーパスが使用できるが、現状ワゴンタクシーでは使用できない。

【委員】

令和9年4月に路線バスの減便や廃止の予定はあるか。

【委員(京王バス)】

路線バスは可能な限り減便した状態であると考えているため、それを前提にコミュニ

ティバスの減便の相談をしている状況である。したがって、現時点では今回提案の日 05 系統以外について、令和 9 年 4 月に路線バスの減便や廃止を行う予定はない。

【委員】

京王バスの担い手不足はある程度やむを得ないところであるが、今回の提案によって運転手に余剰ができるか。また、運転手に余剰ができることで他の路線バスの便数を維持できるかを確認したい。

また、今回の提案で路線廃止する場所に既存の公共交通はあるか。また、路線廃止に伴いどの程度の利用者に影響が出るのか、具体的な数字を示したうえで議論する計画があるのかどうかを具体的に教えてほしい。

【委員(京王バス)】

京王バスでは乗務員減少の中、処遇改善を繰り返した結果として自己都合退職が減ってきており、また、外国人採用の取り組みにより先般正社員として入社している。現状として乗務員不足に迫いつくまでにはまだ時間を要するため、その間、現実的な要員状況の中で現場を運営していくということが非常に重要になってくる。

【事務局】

今回は平山台方面と落川路線が廃止という提案であるが、市としては、運行維持の方針で京王バスと話し合いたいと考えている。現状として路線廃止の場所に公共交通の代替はなく、ワゴンタクシーの運行も可能性として考えてはいるが、ワゴンタクシーについても乗務員不足や予算的な問題もある。

【委員(東京バス協会)】

バスの人材不足は京王バスだけではなく東京都内ほぼ同じ状況である。これは地域に関係なく減便せざるを得ないほど人材が逼迫している状況で、現在、東京都に協力いただき、いかに入社してもらうか、いかに定着してもらうか、施策を行っている。運転手不足やその影響による減便などの現状を知っていただき、皆で考えていく必要があるため、例えば市民まつりといったイベントの中で現状の PR や運転士募集のパンフレットを配布することや、市ホームページ等を活用して運転手募集について周知することを市にも検討してもらいたい。

【事務局】

市ホームページへの掲載は、積極的に実施していきたい。また、市では産業まつりがあり、去年は京王バスと協力して出展し、デマンド交通の利用啓発の他、バス業界の現状の PR、また、運転士採用に関する相談に対して京王バス職員に丁寧に説明してもらった。今後もあらゆる手段を通じて対応していきたいと考えている。

【委員】

実情として、今後バスの増便や新規路線の運行の相談に応じてもらえそうなバス事業者はいるか。

【委員(東京バス協会)】

個人的な見解だが、現状を考えるとどのバス事業者の難しいと思われる。

【会長】

南観光交通は現在ワゴンタクシーを2路線運行しているが、体制として令和9年4月から新たにワゴンタクシーを運行することは可能か。

【委員(南観光交通)】

現状の体制として厳しいと思われる。

【会長】

令和9年4月のミニバス再編ではバス停などの廃止を避けて、可能な限り交通空白地域を拡大させないよう検討を進めてもらいたい。

本件に関しては、今回の意見を参考に引き続き協議していく。

4. 閉会